

令和 5 年度総合事業の評価結果 (評価項目の個別評価及び評価方法)

- I 地域づくりを含む全体評価
- II 介護予防・生活支援サービス事業評価
- III 一般介護予防事業評価

令和5年度総合事業評価結果（評価項目の個別評価及び評価方法）

I 地域づくりを含む全体評価

指標名	指標内容	評価項目	個別評価	評価方法	指標評価 (平均値)
1 ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	(1) 地域包括ケアシステム構築に向けて市関係部署間とともに、地域包括支援センター、地域の各種団体等と連携する体制を構築できているか。	4	(1) 及び (2) について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない 以上の点数を平均したものをストラクチャー指標の評価とする。	4.0
		(2) 協議体や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の設置による推進体制は構築できているか。	4		
2 プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	(1) 地域課題やニーズの洗い出し等に向けた地域住民との話し合いはできているか。	3	(1)～(6)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない プロセス指標【定性評価】全ての項目の点数を平均したものをプロセス指標【定性評価】の評価とする。	3.9
		(2) 市や地域支え合い推進員等を通じて、地域課題解決に向けた関係者への働きかけはできているか。	4		
		(3) 地域資源等の情報の見える化・共有化はできているか。	4		
		(4) 地域課題を行政として把握し、介護予防の推進や生活支援の充実に役立っているか。	4		
		(5) 総合事業や地域の支え合い活動に関する苦情や事故を把握しているか。	4		
		(6) 取り決めにに基づき、関係機関（地域包括支援センター、医療機関、民生委員等）との個人情報の共有を行っているか。	4		
3 アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	(1) 65歳以上の新規認定者数及び割合（要支援・要介護度別） （新規認定者割合＝新規認定者数÷高齢者数）	3	(1) については、以下の3段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている (2) については、高齢者福祉・介護保険事業計画の計画値との比較を行い以下の3段階により評価し、具体的状況（時系列・他市町村等比較含む）を記載する。 4点：計画を下回るペースで推移している 3点：概ね計画通りに推移している 1点：計画を上回るペースで推移している (3) については、以下の3段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている (4) については、以下の3段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：前回の調査時より改善している 3点：概ね前回と同様である 1点：前回の調査時より悪化している (5) 及び (6) については、高齢者福祉・介護保険事業計画の計画値との比較を行い以下の3段階により評価し、具体的状況（時系列・他市町村等比較含む）を記載する。 4点：計画を下回るペースで推移している 3点：概ね計画通りに推移している 1点：計画を上回るペースで推移している 以上の点数を平均したものをアウトカム指標【定量評価】の評価とする。 ※「I 総合評価（地域づくりを含む全体評価）」の全体の評価も記載する。	2.4
		(2) 65歳以上の要支援・要介護認定率（要支援・要介護度別） （認定率＝認定者数÷高齢者数）	1		
		(3) 要介護2以上の認定率	1		
		(4) 日常生活圏域ニーズ調査等による健康に関連する指標の状況 ＜健康関連指標の例＞ ・主観的健康感 ・社会参加の状況 ・運動機能 ・口腔機能 ・栄養状態 ・認知機能 ・閉じこもり ・うつ ・幸福感	1		
		(5) 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額	4		
		(6) 介護予防給付の費用額	4		
				参考：総合事業の評価シート（P4）表1～3	

Ⅱ 介護予防・生活支援サービス事業評価

指標名	指標内容	市評価項目	個別評価	評価方法	指標評価 (平均値)
1 ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	(1) 介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、市、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及びサービス事業提供者が、総合事業の趣旨や自立支援の重要性を共有し、連携する体制を構築できているか。	4	以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない 以上の点数をストラクチャー指標【定性評価】の評価とする。	4.0
2 プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標	(1) 窓口相談に来た高齢者に対し、総合事業の目的、内容、サービスメニュー及び手続方法について十分な説明を行っているか。 (2) 介護予防ケアマネジメントに関する様式が統一されているか。 (3) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握しているか。 (4) 介護予防・生活支援サービス事業の実施量と需要量の関係を的確に把握しているか。 (5) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況の検証に基づき、次年度以降の計画の見直しを行っているか。 (6) 要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の個人情報が共有されることについて、十分な説明を行い、同意を得ているか。	4 4 4 4 4 4	(1)～(6)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない 以上の点数を平均したものをプロセス指標【定性評価】の評価とする。	4.0
2 プロセス指標 【定量評価】		(7) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況	4	訪問型・通所型サービスとともに、介護予防ケアマネジメントの利用者数及び実施回数等を以下の3段階により評価し、具体的状況（時系列比較含む）を記載する。 4点：計画を下回るペースで推移している。 3点：概ね計画通りに推移している。 1点：計画を上回るペースで推移している。 以上の点数をプロセス指標【定量評価】の評価とする。 参考：総合事業の評価シート（P5） 表4	4.0
3 アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	(1) 主観的健康感等	4	主観的健康感、要介護認定区分、基本チェックリストの該当項目の変化を総合的に勘案して以下の2段階により評価し、具体的状況（時系列比較含む）を記載する。 4点：維持・改善率が前年度実績を上回っている 3点：維持・改善率が前年度と概ね同程度である 1点：維持・改善率が前年度実績を下回っている 以上の点数をアウトカム指標【定量評価】の評価とする。 ※「Ⅱ 総合評価（介護予防・生活支援サービス事業評価）」の全体の評価も記載する。 参考：総合事業の評価シート（P5） 表5	4.0

Ⅲ 一般介護予防事業評価

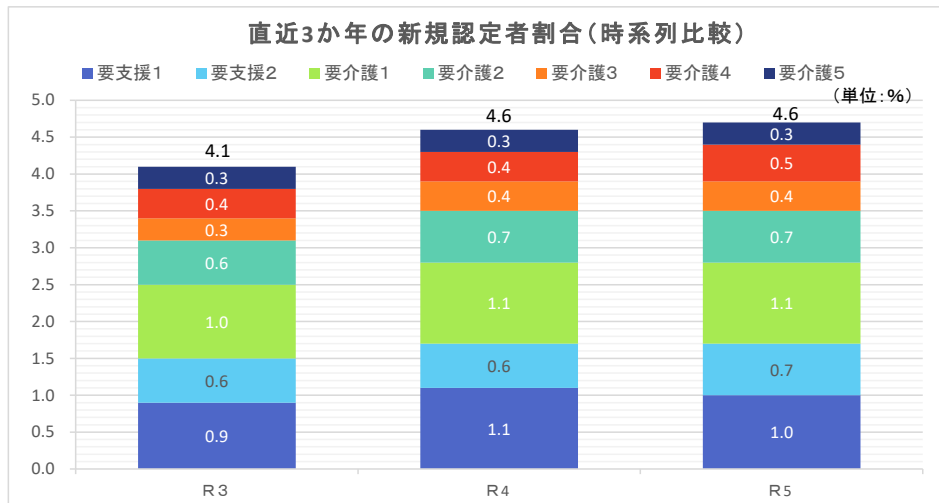
指標名	指標内容	市評価項目	個別評価	評価方法	指標評価 (平均値)
1 ストラクチャー指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標	(1) 一般介護予防事業の実施に当たり、市関係部署（健康づくり推進課、国保医療年金課等）と一般介護予防事業の重要性を共有し、効果的・効率的な事業実施のために、連携する体制を構築できているか	4	以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない 以上の点数をストラクチャー指標【定性評価】の評価とする。	4.0
2 プロセス指標 【定性評価】	事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等のプロセスに関する指標	(1) 市関係部署と連携して、介護予防の取組を実施しているか。 (2) 地域の多様な主体（地域包括支援センター、地区社会福祉協議会、町（内）会等）と連携して、介護予防の取組を進めているか。 (3) 介護予防と保健事業の一体的な実施を実施しているか。 (4) 関係団体との連携により、専門職が介護予防に関与しているか。 (5) つどいの場への参加促進のための取組を行っているか。 (6) 通いの場への参加促進のためのアウトリーチ取組を実施しているか。 (7) つどいの場等の担い手を育成するための研修等を実施しているか。 (8) 介護予防の企画・検証等を行う体制を整備しているか。 (9) データの活用に係る取組を実施しているか。 (10) つどいの場に参加する高齢者の状態を把握しているか。	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	(1)～(10)について、以下の4段階により評価し、具体的状況を記載する。 4点：できている 3点：ある程度できている 2点：あまりできていない 1点：できていない 以上の得点を平均したものをプロセス指標【定性評価】の得点とする。	4.0
3 アウトカム指標 【定量評価】	事業成果の目標に関する指標	(1) 通いの場をはじめとする社会参加の状況（開催箇所数、参加者数、頻度、参加者数） (2) つどいの場に参加する高齢者の状態の変化	4 3	(1)、(2)について、以下の3段階により評価し、具体的な状況を記載する。 4点：前年度実績を上回っている 3点：概ね前年度実績と同様である 1点：前年度実績を下回っている 以上の得点を平均したものをアウトカム指標【定量評価】の得点とする。 参考：総合事業の評価シート（P7）表6	3.5

令和5年度青森市介護予防・日常生活支援総合事業の評価シート

I 地域づくりを含む全体評価

【表1】 I の3(1)～(6)基礎資料(P1)

65歳以上の新規認定者数及び割合(要支援・要介護度別)

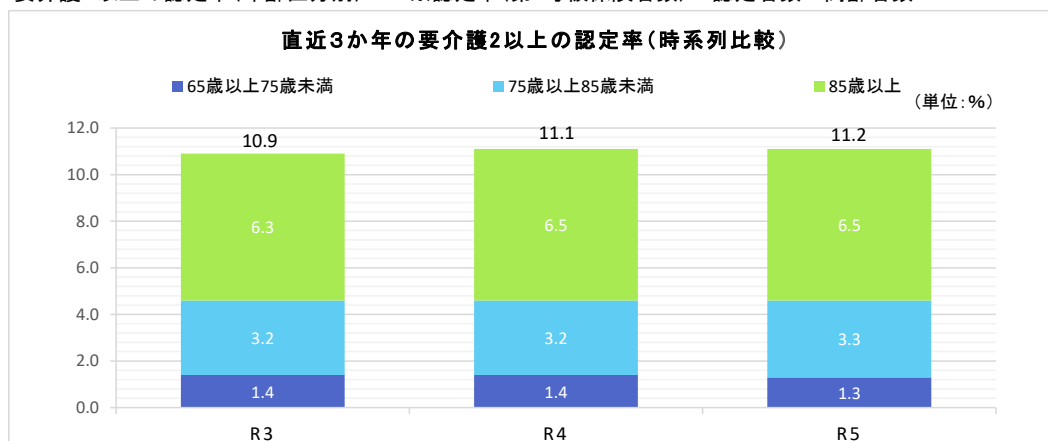


※新規認定者割合＝新規認定者数÷高齢者数(第1号被保険者数)

【表2】 I の3(1)～(6)基礎資料(P1)

要介護2以上の認定率(年齢区分別)

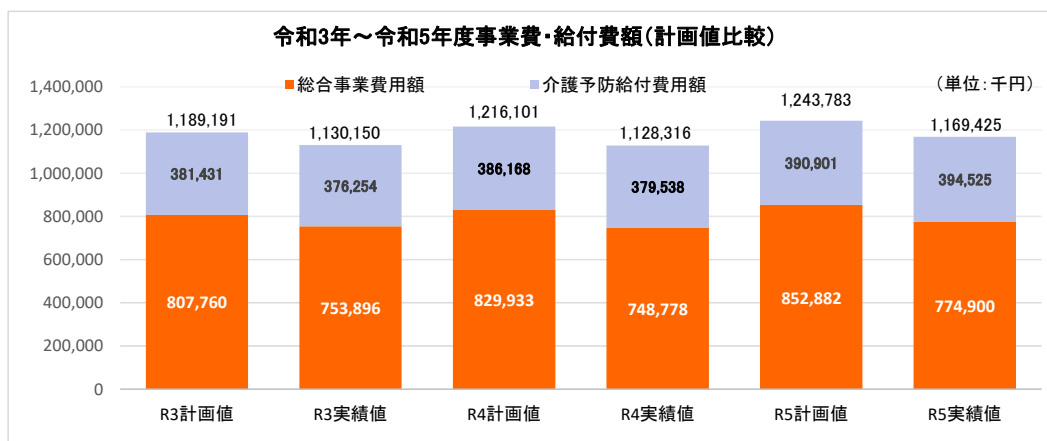
※認定率(第1号被保険者数)＝認定者数÷高齢者数



【表3】 I の3(1)～(6)基礎資料(P1)

① 介護予防・日常生活支援総合事業の費用額

② 介護予防給付の費用額



Ⅱ 介護予防・生活支援サービス事業評価

〔表4〕Ⅱの2(7)基礎資料(P2)

介護予防・生活支援サービス事業の実施状況

		介護予防訪問介護相当事業						介護予防通所介護相当事業						介護予防ケアマネジメント					
		(計)		内訳				(計)		内訳				(計)		内訳			
				事業 対象者	要支援1	要支援2	事業 対象者			要支援1	要支援2	事業 対象者	要支援1			要支援2			
R3	計画値(※1)	976	人/月	-	-	-	1,358	人/月	-	-	-	1,609	人/月	-	-	-			
	実績値(※2)	883	人/月	13	382	488	1,293	人/月	34	578	681	1,506	人/月	45	741	720			
	延べ利用者数(実績)	10,575	人	154	4,576	5,845	15,493	人	405	6,927	8,161	18,059	人	537	8,890	8,632			
	実施回数(実績)	42,307	回	651	18,295	23,361	88,334	回	2,420	38,752	47,162	-	回	-	-	-			
R4	計画値(※1)	1,008	人/月	-	-	-	1,404	人/月	-	-	-	1,609	人/月	-	-	-			
	実績値(※2)	844	人/月	14	357	473	1,324	人/月	37	588	699	1,493	人/月	47	743	703			
	延べ利用者数(実績)	10,113	人	161	4,282	5,670	15,873	人	438	7,051	8,384	17,907	人	562	8,916	8,429			
	実施回数(実績)	39,402	回	580	17,130	21,692	87,956	回	2,262	39,032	46,662	-	回	-	-	-			
R5	計画値(※1)	1,041	人/月	-	-	-	1,454	人/月	-	-	-	1,609	人/月	-	-	-			
	実績値(※2)	799	人/月	10	332	457	1,365	人/月	36	624	705	1,486	人/月	44	748	694			
	延べ利用者数(実績)	9,576	人	111	3,982	5,483	16,353	人	427	7,477	8,449	17,812	人	521	8,967	8,324			
	実施回数(実績)	43,500	回	468	18,415	24,617	100,840	回	2,635	45,896	52,309	-	回	-	-	-			

※注1:計画値は利用者を区分せず、月別の利用者数を算出。

※注2:実績値は、利用者区分別の年間「延べ利用者数(実数)」を12で除し、その合算をもって月別の利用者数とした。

〔表5〕Ⅱの3(1)基礎資料(P2)

主観的健康感等

		年次	利用実人数	評価人数	改善者数	維持者数	悪化者数	維持・改善率	悪化率
主観的 健康感 ※注1	介護予防 訪問介護 相当事業	R3	1,210 人	5 人	2 人	3 人	0 人	100.0 %	0.0 %
		R4	1,159 人	10 人	1 人	5 人	4 人	60.0 %	40.0 %
		R5	1,129 人	7 人	1 人	3 人	3 人	57.1 %	42.9 %
	介護予防 通所介護 相当事業	R3	1,849 人	20 人	6 人	12 人	2 人	90.0 %	10.0 %
		R4	1,875 人	26 人	6 人	13 人	7 人	73.1 %	26.9 %
		R5	1,967 人	19 人	7 人	4 人	8 人	57.9 %	42.1 %
		年次	利用実人数	評価人数	改善者数	維持者数	悪化者数	維持・改善率	悪化率
要介護 認定区分 ※注2	介護予防 訪問介護 相当事業	R3	1,210 人	1,015 人	36 人	723 人	256 人	74.8 %	25.2 %
		R4	1,159 人	943 人	27 人	664 人	252 人	73.3 %	26.7 %
		R5	1,129 人	897 人	23 人	639 人	235 人	73.8 %	26.2 %
	介護予防 通所介護 相当事業	R3	1,849 人	1,487 人	44 人	1,062 人	381 人	74.4 %	25.6 %
		R4	1,875 人	1,477 人	33 人	1,071 人	373 人	74.7 %	25.3 %
		R5	1,967 人	1,585 人	37 人	1,148 人	400 人	74.8 %	25.2 %
	サービス 利用者計	R3	3,059 人	2,502 人	80 人	1,785 人	637 人	74.5 %	25.5 %
		R4	3,034 人	2,420 人	60 人	1,735 人	625 人	74.2 %	25.8 %
		R5	3,096 人	2,482 人	60 人	1,787 人	635 人	74.4 %	25.6 %
	サービス 利用なし ※注3	R3	- 人	700 人	35 人	439 人	226 人	67.7 %	32.3 %
		R4	- 人	691 人	47 人	433 人	211 人	69.5 %	30.5 %
		R5	- 人	716 人	37 人	447 人	232 人	67.6 %	32.4 %
		年次	利用実人数	評価人数	改善者数	維持者数	悪化者数	維持・改善率	悪化率
基本 チェックリストの 該当項目の 変化 ※注1	介護予防 訪問介護 相当事業	R3	1,210 人	5 人	0 人	1 人	4 人	20.0 %	80.0 %
		R4	1,159 人	10 人	1 人	5 人	4 人	60.0 %	40.0 %
		R5	1,129 人	7 人	5 人	2 人	0 人	100.0 %	0.0 %
	介護予防 通所介護 相当事業	R3	1,849 人	20 人	7 人	3 人	10 人	50.0 %	50.0 %
		R4	1,875 人	26 人	6 人	13 人	7 人	73.1 %	26.9 %
		R5	1,967 人	19 人	8 人	8 人	3 人	84.2 %	15.8 %

※注1:令和5年4月1日～令和6年3月31日までの期間で事業対象者であった者のうち、チェックリストを2回以上実施した者の結果を比較。

※注2:要介護等認定区分の比較による評価(R5.4.1時点とR6.3末時点の比較。転出者、死亡者、要介護等認定更新をしなかった者を除く。)

※注3:令和5年4月1日～令和6年3月31日までの期間に介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援の利用がなかった者。

Ⅲ 一般介護予防事業評価

【表6】 Ⅲの3(1)(2)基礎資料(P3)

① つどいの場をはじめとする社会参加の状況

	年度	週1回以上	月2回以上	月1回以上	不定期	計	
通いの場の箇所数	R3	47	71	109	16	243	箇所
	R4	52	91	97	14	254	
	R5	51	79	105	26	261	
参加者実人数	R3	603	1,021	2,373	236	4,233	人
	R4	633	1,379	1,854	252	4,118	
	R5	666	1,099	2,183	493	4,441	
参加率(※)	R3	0.7	1.2	2.7	0.3	4.9	%
	R4	0.7	1.6	2.1	0.3	4.7	
	R5	0.8	1.2	2.5	0.6	5.1	

(※)毎年度末(3月31日現在)の第1号保険者数に占める参加者数の割合。

② 体力測定等の実施状況

○令和5年度では、令和3年度及び令和4年度に測定した22団体125人の3項目の体力測定データについて、青森県立保健大学の協力のもと分析・比較を行った。

- ・「Timed Up & Go(TUG)テスト」
- ・「膝伸展筋力(下肢筋力)測定」
- ・「開眼片足立ち測定」

ア)「Timed Up & Go(TUG)テスト」:

「統計学的に向上している」4団体、「維持(統計学的に差がない)」13団体、「統計学的に低下している」5団体

イ)「膝伸展筋力(下肢筋力)測定」:

「統計学的に向上している」0団体、「維持(統計学的に差がない)」22団体、「統計学的に低下している」0団体

ウ)「開眼片足立ち測定」:

「統計学的に向上している」0団体、「維持(統計学的に差がない)」21団体、「統計学的に低下している」1団体

(団体数)

R3及びR4の体力測定データ比較結果		ア) Timed Up & Go (TUG)	イ) 伸展筋力 (下肢筋力) 測定	ウ) 開眼片足立ち	
データあり団体数		22	22	22	総数 22団体
内訳	a 向上 (有意差あり)	4	0	0	a 平均 1.3
	b 維持 (有意差なし) ※統計学的に差が無い	13	22	21	b 平均 18.7
	c 低下 (有意差あり)	5	0	1	c 平均 2.0

○つどいの場における難聴高齢者の実態把握のため、フレイル予防健康教育にて聞こえのアンケート調査を地域包括支援センターとともに実施した。

【R5調査実施状況】

- ・実施回数:18回
- ・聞こえのアンケート調査回答者数:270人(参加者数延べ290人)